

株式会社アルファシステムズ

# 第45期 報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで



## 株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申し上げますとともに、平素よりのご支援並びにご愛顧に対し、深くお礼申し上げます。

第45期は、売上高が過去最高を更新し、5期連続の増収となりました。当社が長年通信分野で培った強みを活かし、ICT投資の拡大が続くオープンシステム分野の事業や、文教分野を中心としたプロダクト・サービスビジネスへ注力したことが、成果を挙げました。「オープンシステム」の売上高は前期比14.7%の増加、7期連続の二桁成長となりました。プロダクト・サービスが占める「その他」事業の売上高は、前期比で96.8%増加しました。

今後も、通信事業者の国内設備投資の低調な推移が予測されることから、引き続きオープンシステム分野の事業拡大、新たな収益源としてのプロダクト・サービスビジネスの基盤強化に努めます。

また、人材・技術・組織という強みを活かして受注の拡大に努めるとともに、リスクマネジメントを徹底し、持続的な成長と安定した収益基盤の構築を進めてまいります。

第45期の配当金につきましては、本年10月に創立45周年を迎えることから、株主の皆様へ感謝の意を表し、期末配当は普通配当20円に記念配当20円を加えて1株当たり40円とし、中間配当20円と合わせ、年間で60円とさせていただきます。今後も、安定的かつ継続的な配当による利益還元とともに、配当水準のさらなる向上に向け、収益力を高めてまいります。

引き続き、株主の皆様の一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2017年6月

代表取締役社長 黒田 憲一

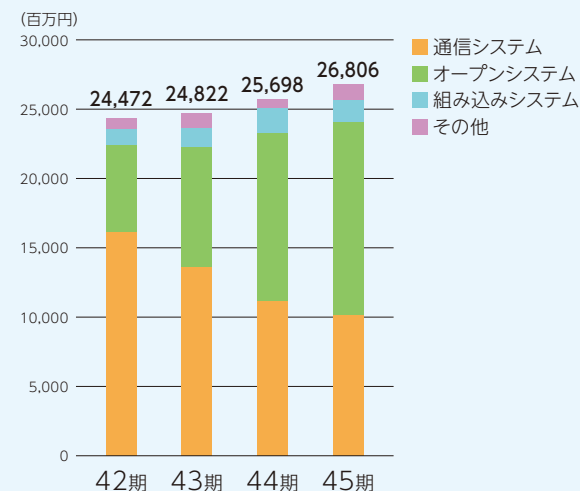
## 決算ハイライト

### 当期の事業環境と業績

当事業年度におけるわが国の経済は、政府・日銀の経済金融政策に支えられ、緩やかな回復基調となりました。海外経済が底堅く推移する中で、輸出・生産の持ち直しや個人消費の改善が進みました。しかしながら、保護主義の台頭、欧州の政治経済の不安定化、アジアの地政学リスクの高まりにより、景気の先行き不透明感が強まりました。

情報サービス業界では、幅広い分野でソフトウェア投資が堅調に推移しました。インター

### 売上高(事業区分別)



ネットビジネスをはじめとして、官公庁、金融等の各分野でICT技術の戦略的な活用が進められております。

また通信分野では、モノのインターネット※やクラウドサービスの普及に伴うネットワーク通信量の増加への対応や、ICT基盤の高度化が進められる一方、通信事業者の設備投資は低調なまま推移しました。

このような事業環境の中で、当社は受注環境の良好なオープンシステム分野へ積極的に展開し、受注の拡大と事業基盤の強化を図るとともに、リスクマネジメントの定着に取り組

み、不採算案件発生の抑止に努めてまいりました。また、新たなビジネスの創出に向け取り組んでいるプロダクト・サービスビジネスにおいて、文教分野向けのソリューション販売に注力し、売上の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は26,806百万円(前期比4.3%増)、営業利益は2,560百万円(前期比6.7%増)、経常利益は2,630百万円(前期比6.6%増)、当期純利益は1,737百万円(前期比13.9%減)となりました。

※モノのインターネット(Internet of Things : IoT)は、コンピュータ等のIT関連機器だけでなく、世の中に存在する様々な“モノ”に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測等を行うこと。“モノ”には、照明機器、エアコン、給湯器等の宅内機器をはじめ、電力メーター、自動車、産業機械等が挙げられる。

## 事業概況

(百万円)

**通信システム** 10,155 前期比 9.1%減

通信事業者の設備投資抑制が継続したことにより、売り上げが減少いたしました。

**ノード** 2,090 前期比 1.4%減

交換システム関連の売り上げは増加いたしました。伝送システム関連及び次世代ネットワーク(NGN)関連の売り上げが減少いたしました。

**モバイルネットワーク** 3,351 前期比 11.6%増

携帯端末関連の売り上げが増加いたしました。

**ネットワークマネジメント** 4,713 前期比 22.0%増

固定網インフラ関連の売り上げが減少いたしました。

**オープンシステム** 13,857 前期比 14.7%増

高水準の国内ICT投資に支えられ、売り上げが増加いたしました。

**公共** 5,461 前期比 9.2%増

官公庁向けシステム関連の売り上げが増加いたしました。

**流通・サービス** 4,452 前期比 41.9%増

インターネットビジネス関連の売り上げが増加いたしました。

**金融** 2,017 前期比 19.1%増

各種カード決済システム関連の売り上げが増加いたしました。

**その他** 1,927 前期比 14.3%減

製造業及びその他企業向けシステム関連の売り上げが減少いたしました。

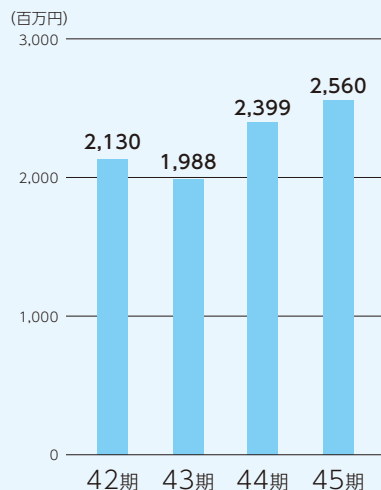
**組み込みシステム** 1,652 前期比 11.8%減

OA機器関連の売り上げが減少いたしました。

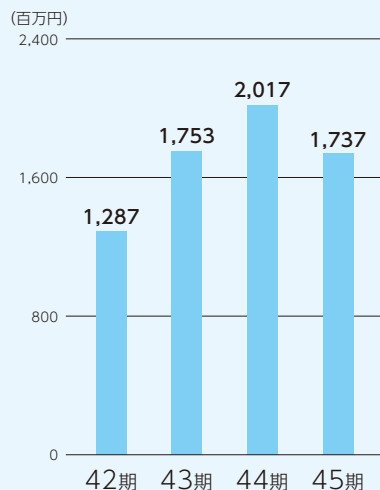
**その他** 1,140 前期比 96.8%増

文教ソリューション関連の売り上げが増加いたしました。

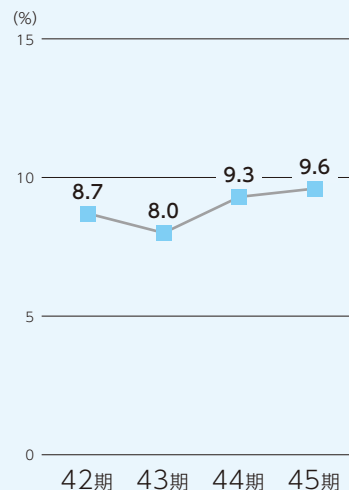
### 営業利益



### 当期純利益



### 売上高営業利益率



# 拡大を続けるオープンシステム事業の優位性確保に向けて

成長の基盤となる事業領域への選択と集中

## 1 消費者向けEコマース関連の拡大



ネットビジネスへの貢献のひとつは、アプリケーションの開発・運用サイクル高速化への対応  
“速く創って、改善し続ける”の開発スタイルに適応しつつ、品質重視の開発との融合により、貢献・差別化

## 2 公共・金融分野の拡大



市場が大きい分、未開拓分野が多く、参入余地が大きい、長期大型案件が多い  
より上流工程から参画する等、“協働”でプロジェクトを成功させ、コアパートナーに

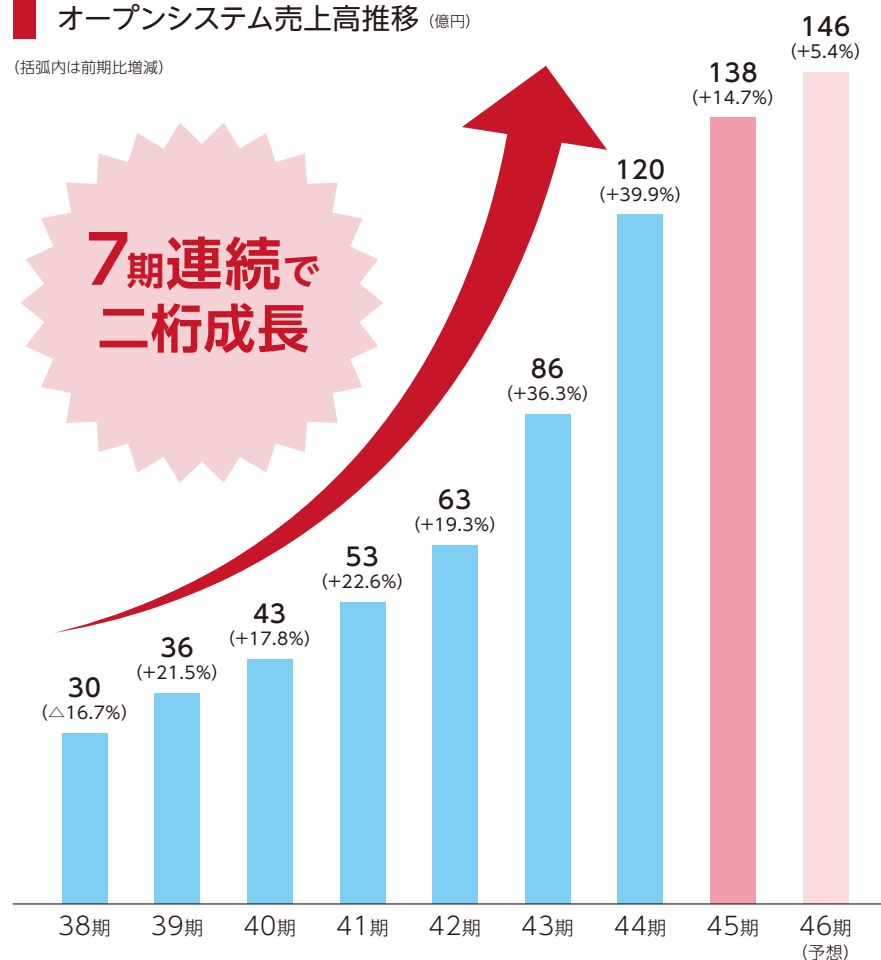
## 3 請負業務、プライム案件比率の増加



大手SIerの受注案件ではなく、顧客の製品、顧客のビジネスシステム開発案件の受注を増やしていく  
生産性向上に取り組みやすく、強みを発揮しやすい業務環境づくり

## オープンシステム売上高推移 (億円)

(括弧内は前期比増減)



## 文教ソリューション (V-Boot)の状況について

### 45期の導入実績

## V-Bootが過去最多の導入実績を更新!

V-Bootは、大学などの教育機関向けに当社が開発したシステムで、パソコン教室の管理を支援する製品です。

45期上期は、北海道、関東、近畿、九州地域の計5校にV-Bootを導入しましたが、45期下期は上期を大きく上回る引き合いをいただき、通期で**大学を中心とした22の教育機関(約10,000台)**のパソコンにV-Bootを導入しました。

年間22校への導入というのは過去最多で、V-Bootならびにアルファシステムズへのお客様からの信頼と評価が高まりつつあることを実感しています。46期もすでに数十件の引き合いをいただいております。日々全国を飛び回り提案活動を行っています。

また、45期下期は**過去最多の約4,000台**を管理している大学様へ導入を行い、新学期より運用を開始しています。

### 好評 いただいている 理由

2016年3月にリリースしたVer.3で、顧客ニーズが高かった機能をV-Bootオールインワンとして提供できたことによるものと考えています。

仮想化基盤を廃止したことにより、低価格PCなど提案可能な機種が増え、予算が少ない学校でも導入可能になった

授業スケジュールや公開PC教室の情報をスマートフォンやPC、デジタルサイネージで確認できる「PC教室利用状況表示機能」

学生の持ち込みPCや自宅PCから、学内のV-Bootクライアントにリモートデスクトップ接続を可能にする「リモートデスクトップ接続コントローラ」

USBメモリの抜き忘れを検知し、利用者への通知や管理者に報告する「外部メディア抜き忘れ検知機能」

### 45期の展示会出展状況

## 8つのイベントに出展

45期は、大小含め8つの展示会や学会系のイベントにV-Bootを出展し、学校関係者や文教ビジネスに関わるベンダー企業等へV-Bootのデモンストレーションを行いました。

展示会をきっかけにして45期にV-Bootを採用していただいた学校も数校あり、展示会出展は非常に有力な販促活動となっています。

### 第7回 教育ITソリューションEXPOの様子



期 間 2016年5月18日～20日

会 場 東京ビッグサイト

来場者数 30,422名

46期も継続して展示会等のイベントに出展し、製品のアピールを続けていく予定です。

# デザイン刷新で情報を充実 採用強化を狙いモバイルに対応



トップページ > 事業情報 > 製品・ソリューション

## 自社製品は ユーザー視点で再構成

より多くのお客様に自社製品の魅力を知っていただくため、製品サイトの見直しを実施しました。

テレビ番組を見られるスマホアプリ「Media Link Player for DTV」のサイトでは、初めての方でも利用法がわかるよう、ユーザー目線で情報やデザインを再構成しました。



## 文教ソリューション

学校や図書館などのPCの管理・運用をあらゆる角度から幅広くサポートいたします。



PC運用システム

教育機関様のPC教室等でご使用いただいている、数百数千台のPCを一括して同じ設定にすることができるシステムです。PCの管理・運用をぐっと簡単にすることができます。



授業支援システム

教育機関様のPC教室等での授業を支援するシステムです。先生と生徒のPCを連携させて教材配信や画面の共有等の機能によって、授業をする先生をサポートします。

## ホームネットワークソリューション

DLNA(Digital Living Network Alliance)の仕様に対応したデジタル家電製品の開発をサポートいたします。



DLNA/DTCP製品開発キット

家電やスマートフォンをDLNA/DTCP-IP対応にするSDK(ソフトウェア開発キット)です。開発中のAndroid製品に組み込むことで、動画・音楽・画像のやり取りが簡単に行えます。



テレビ視聴スマホアプリ

お家で録画したテレビ番組がどこでも楽しめるアプリです。ご家庭のハードディスクレコーダとスマホを無線LANでつなぐことで、放送中の番組をスマホで見ることができます。また録画した番組は、スマホに保存して持ち出せます。

## ヘルスケアソリューション

介護事業者様や自治体様が展開するケアサービス向けに、タブレットを用いた高齢者様の健康状態の確認・家族間のコミュニケーション手段を提供します。



高齢者ヘルスケア支援システム

トップページ > 採用情報 > 新卒採用

# 採用強化に向け 学生向けの情報を満載

学生向けに、爽やかな印象のデザインとし、スマートフォンで見てわかりやすい構成に変更しました。

さらに、どのような会社かを数字で見るコンテンツや、先輩達の声を多く掲載し、自分が働くイメージや社風が伝わるように工夫を凝らしました。



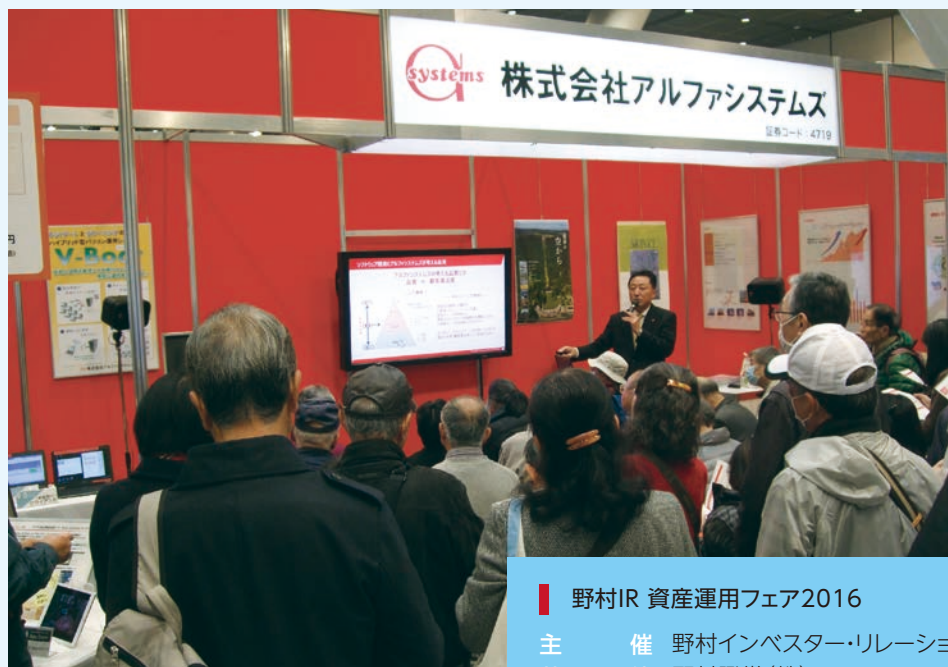
## イベント

## 「野村IR 資産運用フェア2016」へ出展

当社は、2016年12月13日(火)、14日(水)の2日間、東京国際フォーラム(東京都千代田区)で開催された「野村IR 資産運用フェア2016」へ出展いたしました。

出展ブースでは、自社製品の展示や会社説明会を開催し、多くの方々に当社の事業や株主様還元についてご理解を深めていただくことができました。

また、頂戴した貴重なご意見を今後に活かし、積極的にIR活動を進めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、ますますのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 野村IR 資産運用フェア2016

主催 野村インベスター・リレーションズ(株)  
共催 野村證券(株)  
出展企業 上場企業64社、投信運用会社等19社

## 株主メモ

|                  |                                                                                                                                                    |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度             | 4月1日～翌年3月31日                                                                                                                                       |
| 期末配当金<br>受領株主確定日 | 3月31日                                                                                                                                              |
| 中間配当金<br>受領株主確定日 | 9月30日                                                                                                                                              |
| 定時株主総会           | 毎年6月                                                                                                                                               |
| 株主名簿管理人          | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                      |
| 特別口座<br>口座管理機関   | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                      |
| 同連絡先             | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号<br>電話：0120-232-711 (通話料無料)                                                                      |
| 上場証券取引所          | 東京証券取引所                                                                                                                                            |
| 公告の方法            | 電子公告により行う<br>公告掲載URL <a href="https://www.alpha.co.jp/">https://www.alpha.co.jp/</a><br>(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) |

## お知らせ

- ご注意
1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
  3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

**systems 株式会社アルファシステムズ**

〒211-0053  
神奈川県川崎市中原区上小田中6丁目6番1号  
本社(中原テクノセンター1号館)  
電話：044-733-4111(代表) Fax：044-739-1100  
<https://www.alpha.co.jp/>

